

311号

2021年
5月

日赤みやぎ



▲新年度 職員の集合写真

皆さまには、日頃より赤十字に対しご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

東日本大震災の発生から10年が経過している今、新型コロナウイルスの影響で、人と会うことや集まることが制限され、赤十字の活動も従来のような活動ができない状況が続いています。しかし、そのような中でも、奉仕団の皆さまをはじめとして、感染防止に配慮し工夫しながら、活動されていることに敬意を表します。そして、コロナ禍のなかで、これまで見えなかったものに気づいたり、大切なものを得られるとも感じています。

「ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず」。世の中は変わっていきませんが、「人が人を救う」という、赤十字の軸は変わりません。私達は、これからも人と人のつながりを大切にしながら、皆さんと赤十字運動を進めていきたいと考えています。今後ともお力添えくださいますようお願いいたします。

日本赤十字社宮城県支部事務局長 渡辺 達美

5月は赤十字運動月間です

令和2年度 日本赤十字社宮城県支部の活動報告レポート

宮城県赤十字看護奉仕団

仙台赤十字病院従事者をフェイスシールド作りで支援。



宮城県青年赤十字奉仕団



訪問活動ができなくなった乳児院や高齢者施設にメッセージカードを作製。

各種講習の中止と再開

体温測定や手指消毒、マスクの着用はもちろんのこと、3つの密「密閉・密集・密接」を避けて感染症の拡大防止対策を設け、令和2年7月から一部の短期講習を再開しました。

令和2年3月	宮城県内の赤十字講習をすべて中止
令和2年7月	短期講習の一部内容を再開
令和2年10月下旬	救急法基礎講習（暫定版）を再開
令和3年3月中旬	宮城県のコロナ感染者増加を受けて中止



活動中止を余儀なくされた奉仕団もありましたが、コロナ禍に特化した避難所訓練を行ったり、マスクケースを作って安否確認訪問を行ったりと活動を工夫した奉仕団もありました。

新型コロナウイルス感染症ガイドを活用した活動を行う奉仕団もありました。



▲鳴子奉仕団保健師による健康教室



▲幸町南児童館図書館に配布



▲長町南部地区民生委員だよりに掲載

世界保健機関が
パンデミックを宣言
(3月11日)

全国への
緊急事態宣言
(4月16日
～5月25日)

都道府県をまたぐ
移動の自粛緩和
(6月19日)

県内JRC加盟校に対する取り組み



加盟校からの要望に合わせて防災教育授業（段ボールベッドの組み立て）や新型コロナウイルス感染症ガイドに関する講話を行いました。

また、例年実施している国際交流はオンラインでの実施となりました。

大郷町での支援を継続

令和元年東日本台風（台風19号）災害で浸水被害のあった大郷町土崎地区の被災者支援活動を行っています。

日本災害看護学会や宮城県臨床心理士会の方々と協力し、新型コロナウイルスの感染状況に留意しながら4月以降も傾聴活動を続けてまいります。



オンライン遺贈・相続財産 寄付セミナー

ご自身や故人の思いを広く社会に役立てる手立てとして、赤十字への遺贈や相続財産寄付に関する説明、質問会をオンラインで行いました。

震災から 10年プロジェクト ※次ページ掲載

首都圏を
中心とした地域への
緊急事態宣言
(1月8日～
3月21日)

宮城県独自の
緊急事態宣言発令
(3月19日
～4月11日)

県民の皆さまが様々な形で赤十字に想いを託してくださいました！



▲不織布マスクの寄贈

マスクが不足していた当初ありがたい寄贈でした。
仙台赤十字病院、石巻赤十字病院、宮城県赤十字血液センターに配分いたしました。

▼令和2年7月豪雨災害義援金

大雨被害のあった九州地方に、自分たちができる支援をということで、青少年赤十字加盟校や企業、一般の皆様から募金を託されました。



▲NHK海外たすけあい募金

令和2年度は街頭募金活動が中止となりましたが、たくさんの温かい気持ちをお寄せいただきました。

赤十字防災ボランティア牧野純子さん 防災功労者防災担当大臣表彰を受賞

日赤みやぎの巻末レシピでお馴染み、アネちゃんこと、牧野純子さん。長年災害時の防災活動や防災思想の普及に顕著な功績を挙げたとして、内閣府から表彰されました！



CHECK

活動資金の活用

皆さまからお寄せいただいた活動資金は、上記のような活動のほか、災害への備えとして、ブロック合同訓練や、県内各地区・分区に対する救護装備資材の配備、段ボールベッドの備蓄などにも活用しております。



七ヶ宿町赤十字奉仕団が再結成！

約10年前から団員の高齢化により休団状態になっていましたが、11名の団員応募があり、奉仕団の結成に繋げることができました。



東日本大震災10年プロジェクト



当支部では、被災された方々の想いに寄り添って「震災は絶対に風化させない」と改めて決意し、10年の節目をきっかけに、職員・ボランティアが一体となった事業を実施いたしました。

01 支援している人、支援された人の10年をインタビュー 心の繋がりは永遠に

東日本大震災における救護活動や復興支援事業で関わった方々の近況や思いなどを綴った記事を、河北新報に掲載いたしました（令和3年3月5日～11日）。

また、メッセージ動画を製作し、感謝の思いを発信しております。

クウェート政府からの資金援助をもとに海苔養殖業を再開した南部さん。感謝の声をクウェート大使にも動画で届けることが出来ました！



メッセージ動画
公開中です！

・徳島県地域赤十字奉仕団
・名取市関上 長沼俊幸さん
・姫路赤十字病院
スワルティさん
・石巻赤十字病院 佐藤大輔さん
・防災ボランティアリーダー
大友明夫さん
・ナンプ水産代表 南部武彦さん
・女優 藤原紀香さん
※支部ホームページに記事を掲載中

02 災害公営住宅入居者との交流

発災直後から、石巻で活動した全国の日赤職員と石巻復興きずな新聞舎のボランティアが写真とメッセージを寄せ、石巻市の災害公営住宅に入居する皆様にお届けしました。

また、かつて支援をした徳島県の赤十字奉仕団の皆さまから多賀城公営住宅の皆さまへ寄せ書きフラッグを寄贈しました。



04 仙台89ERSとの防災・減災に向けた取り組み

パートナーシップを締結しているプロ・バスケットボールチーム仙台89ERSと協働し、プロジェクトの周知と震災からの復興と防災・減災を伝える活動を展開しました。

日赤のブースでは、来場者にパネルを使った震災当時の活動紹介や心肺蘇生体験をしていただきました。



03 東日本大震災における 石巻赤十字病院の経験を 若い世代へ伝える

人気YouTubeチャンネル「ヒューマンバグ大学」とコラボし、石巻赤十字病院の奮闘を紹介。この動画は60万回以上再生され、大きな反響を呼びました。

「みんなが力を合わせればどんな災害が来ても乗り越えられる」

4/15時点で
87万回以上再生されています。



05 語り部さんの声を全国・世界へ生配信 「オンライン語り部LIVE」の開催

震災を絶対に風化させず、次の災害発生時の行動に繋げるために、青少年赤十字加盟校と全国・世界の赤十字ボランティアを対象に語り部さんの声をオンラインで生配信しました。（公益社団法人3.11みらいサポートとの共催事業）

1月から3月にかけて総計33回実施した本事業には

- ・青少年赤十字加盟校…103校10,951名
- ・全国の青年・学生奉仕団等…延べ62名
- ・全国の地域・特殊赤十字奉仕団等…延べ239名
- ・世界の赤十字ユースボランティア…海外10の国と地域25名が参加しました。



宮城県内施設のトピックス

仙台赤十字病院

八木山中学校全校制作作品「モザイク画」の寄贈 ～Let's unite to beat it 未来を照らして～

3月22日（月）、八木山中学校全校生徒制作による「モザイク画」の贈呈式が行われました。

この作品には、困難な状況の下、コロナと戦う医療従事者への感謝の気持ちと、コロナに負けずに未来を照らしていこうとの願いが込められております。

贈呈式では、舟山院長から「ワクチンという希望が見えているので、困難な状況にあっても未来を見据えて頑張りたい」という決意の言葉がありました。

今回、お贈りいただいたモザイク画は、1階正面ロビーに展示し、職員はもちろんご来院頂いた方々にもご覧いただきたいと思います。



▲生徒会執行部、原案者の生徒より寄贈を受ける舟山院長

石巻赤十字病院

全国で2施設目！ 病理部でISO15189認定を取得しました！



▲ISO15189を取得した病理部のメンバー

石巻赤十字病院病理部は、令和2年12月11日付けで「ISO15189：2012」を取得しました。

これは、臨床検査データの信頼性・技術能力を国際基準に照らし合わせて、第三者（外部機関）が評価し認定するものです。

病理学的検査単独認定は、名古屋第一赤十字病院に続き全国で2施設目となります。これで当院は、臨床検査課・生理検査課（2019年12月13日取得）に続き、病理部も認定取得となりました。この認定取得により、当院の検査データは安心して利用できると国際的な基準で認められたことになります。

当院はこれまで以上に品質の維持・向上に努め、患者さんのためにより良い医療を提供できるよう継続的に改善を進めてまいります。

宮城県赤十字血液センター

クリスマス献血キャンペーンを実施しました！

12月20日（日）、クリスマスキャンペーンをイオンモール名取にて実施しました。本イベントは例年、学生献血推進ボランティアが主体となって実施しており、今年度はサークル活動が学校側から制限されている中、学生自ら学校側と交渉し、今回のイベントでの活動が可能となりました。当日は活動の縮小を余儀なくされ3名での呼びかけ活動になりましたが、寒空のもと、出入り口前で献血の呼びかけなどを行い、受付84名のうち75名の献血協力をいただきました。血液センターではコロナ禍で万全の感染防止対策をとって献血を実施しています。皆さまのご協力をお待ちしております。



▲献血の呼び掛けを行った学生ボランティアの皆さん



赤十字講習について

【個人の場合】

令和3年度講習日程（上半期分）

○救急法基礎講習

6/5(土)、6/26(土)、7/11(土)*、7/22(土)*、8/14(土)*、
8/28(土)、9/12(日)、9/18(土)* インターネット
申込のみ受付

○健康生活支援講習短期講習

7/10(土) 災害時の高齢者支援

○幼児安全法短期講習

6/12(土) こどもの看病・手当のしかた
7/12(月) 一次救命処置

【団体の場合】

現状、「密」になる実技の講習はできませんが、一次救命処置や着衣泳、認知症等の講習は実施しております。地域や職場等でご要望がありましたら、以下のお問合せ先までご連絡下さい。

講習時間・会場・申込方法等については、当支部HPをご確認ください。

また、災害や感染症流行等で中止する場合がありますので、ご了承ください。

【問合せ先】

日本赤十字社宮城県支部事業推進課 普及係
TEL 022-271-2253

読者プレゼント

宮城県支部 特製エコバック & ハートラちゃんぬいぐるみ(小)を

10 名様に差し上げます!

【応募方法】

①氏名 ②ご住所 ③年齢 ④性別 ⑤連絡先(電話番号・メールアドレス)

⑥本紙の入手先 ⑦本紙へのご意見・ご感想

はがき：〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町4-17 日赤宮城県支部「日赤みやぎ」担当あて

メール：info@miyagi.jrc.or.jp

エコバックは仙女の里村明衣子さん、
みちのくプロレスの新崎人生さんとハートラちゃんのコラボグッズです。
ファスナー付き折りたたみ式でコンパクトに持ち歩くことができます。
何色が届くかは楽しみ♪



ぬいぐるみは
しっぽで立ちます



お役立ち情報 非常食かんたんレシピ



* アネちゃんの * かんたんごはん帳 Vol.21 袋でまぜるホットケーキ

東日本大震災の直後、最も検索数が多かったのは「小麦粉 レシピ」だったのだそう。

確かにどこのうちにも小麦粉はありますね。でもより簡単に何かを作るならホットケーキミックスがオススメ。ローリングストックもしやすいですね。こちらの方法では道具をほとんど使わずに汚さずに作れます。洗いや出ないので災害時にも作りやすい方法です。材料をポリ袋に入れて混ぜ、フライパンにはアルミホイルを敷き、生地を袋の下をカットして生地を流し入れて焼きます。もしあれば、マヨネーズを入れて、蓋をして焼くことで、冷めてもふんわりした仕上がりになります。アルミホイルはくっつかないタイプがオススメです。普通のアルミホイルを使用する場合はペーパーなどでサラダ油を塗ってください。

アネ(牧野純子)
イラストレーター・FCAJ認定フードコーディネーター
仙台市在住
赤十字救急法救急員 赤十字防災ボランティアリーダー
出版社、CM制作会社を経てフリーランスに。著書に「アネちゃんのごはんいっぱい(主婦と生活社)」、「夜にちょこっとココットごはん」(朝日新聞出版)がある。

* 材料 (2人分)

ホットケーキミックス…1袋
牛乳・卵…袋の分量通り マヨネーズ…大さじ1

* 作り方

1. 計量カップにポリ袋を入れ分量の牛乳を注ぎ入れ、卵とマヨネーズを加え、袋の上からみもぐし、しっかりと混ぜる。
2. 1にホットケーキミックスを加えてよく混ぜる。
3. フライパンにアルミホイル2枚を重ねて敷き中火にかける。※クッキングシートでもOK
4. 2の袋のはじをはさみで1cmほど切り、3のフライパンに生地を丸く絞り出す。
5. 弱火にして蓋をして、表面がふつふつとしてきたら上の1枚の端を持ってアルミホイルごと裏返し、蓋をして5分程焼く。

※アルミホイルは残り物を包んだり皿として再利用。

※目玉焼きもアルミホイルを敷いて調理します。
ソーセージは、水小さじ1をふりアルミホイルで包み水気が飛ぶまで蒸してから焼くと安心です。

